学校番号	120

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ(選)	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新選日本史Ｂ」　（東京書籍）						
副教材等	図説日本史通覧　（帝国書院編集部）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史上の出来事に「どうしてそうなったのか」という視点を持つ。
・図版、映像、年表、世界の諸事情などを踏まえ理解を深め、考察を文章化する。
・定期試験の事前学習に取り組み、提出物の期限を守る。

2　学習の到達目標

・わが国の歴史の展開を地理的条件や世界の歴史と関連付けて、総合的に判断する。
・各時代の特色とその変遷を考察し、日本の文化と伝統の特色について認識を深める。
・歴史的思考力を培い、国際社会に生きる日本国民としての自覚と資質、公平な判断力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	古代～現代の社会経済･文化を中心とする日本の歴史への関心を高め､意欲的に追求する。また、国際社会や国､地域を形成する主体としての自覚を持ち諸事象を考える態度を身につける。	現代日本の諸課題を歴史的観点から考察し､国際環境等と関連付けて公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	古代～現代の社会経済･文化を中心とする日本の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択することができる。また、図表などにまとめることができる。	古代～現代の社会経済･文化を中心とする日本の歴史の基本的な事柄を、地理的条件や世界の歴史と関連付けて理解し、知識を身につけている。
評価方法	提出物（ワークシート、振り返りシート、ノートなど）	定期考査 提出物（ワークシート、主題学習［論述課題］、ノートなど）	定期考査 提出物（ワークシート、主題学習［論述課題］、ノートなど）	定期考査 提出物（ワークシート､主題学習［論述課題］、ノートなど）

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	古代国家の形成と貴族文化の誕生	・原始社会の生活と文化 1　更新世の日本 2　縄文文化 ・農耕社会の形成と大陸文化の摂取 1　弥生文化と小国家の形成 2　大和王権と古墳文化	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	a:旧石器文化、縄文文化と弥生文化の特色、大和王権と古墳の出現について関心をもち、日本列島における政治的・地域的統合が進んでいった歴史的背景や、王権が作り出した支配制度の特色などについて課題を設定し、意欲的に追及しようとしている b:古代の人々の生活や信仰について、出土資料などから考察し、自らの考えを適切に表現している。 c:遺跡から出土した土器や石器などの考古学的遺物を観察し、情報を正確に読み取っている。また、中国との交渉についても文献資料から情報を正確に読み取っている。 d:農耕のはじまりが社会に及ぼした影響を理解し、古代小国家群の成立について知識を身につけている。	定期考査 提出物
		・律令国家の形成と古代文化の展開 1　飛鳥の朝廷と文化 2　律令国家の成立と白鳳文化 3　平城京と天平文化	○	○ ○ ○	○ ○ ○	○	a:律令制度下の地方豪族の役割や、公民の負担について意欲的に理解しようとしている。 b:政治と仏教の結びつきに関する歴史的背景を考察し、国際色豊かな天平文化について、世界史的視野に基づいて自分の考えを適切に表現している。 c:写真資料から飛鳥・白鳳・天平文化の特色を読み取る。また、文献史料などから律令国家の土地制度の変遷について、必要な情報を集めて整理する。 d:仏教受容において遣隋使・遣唐使が果たした役割を知り、彼らが持ち帰った文物、知識が広く社会に変革をもたらしたことを理解する。	

1学期		・摂関政治と文化の和様化 1　平安遷都と唐風文化 2　国風文化	○	○ ○	○ ○	○	a:平安時代の文化・地方政治の転換について関心をもち、諸課題を意欲的に追求しようとしている。 b:大陸文化を吸収し日本の風土や生活に適応した新たな文化が生まれたことを考察し、自らの考えを適切に表現している。 c:浄土思想の流行を図版資料で読み取るほか、主要な文学作品を参照し、貴族文化を理解する。 d:国風文化の特色について理解する。また、荘園制度の変遷を知り、院政と武士の台頭に関する基礎的な知識を身につけている。	定期考査提出物
2学期	武家社会の形成と生活文化のめばえ	・中世社会の成立 1 平氏政権の登場 2 鎌倉幕府の誕生 3　鎌倉の仏教と文化	○	○ ○ ○	○	○ ○	a:武士政権が成立した歴史的背景に関心をもち、さまざまな資料から武士の姿を意欲的に追求しようとしている。 b:戦乱で混乱した世相が鎌倉新仏教の成立に関係していることを理解し、各宗派の特色を表にまとめている。 c:写実性を重視した文化の新機運について、図版資料から特色を把握する。 d:武士政権の成立にいたるまでの社会の動向変化を理解し、知識を身につけている。	定期考査提出物
		・中世社会の成立 3　執権による政治 4　元寇と社会の変貌	○	○	○ ○	○ ○	a:元の襲来が起こった世界史的背景について関心をもち、意欲的に追求しようとしている。 b:執権政治が内外の危機にどう対応したか、表にまとめるなどしている。 c:年貢納入や商取引に、宋銭・元銭が用いられるなど貨幣流通が一般的になったことを出土資料などから理解する。 d:農業や商品流通の発達が、御家人社会に及ぼした影響を理解している。	

2学期	武家社会の形成と生活文化のめばえ	・武家社会の形成と東アジア 1　室町幕府の創設 2　倭寇と東アジアの交易 3　下剋上の社会と戦国大名 4　室町文化	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:室町時代の社会・経済、文化について関心をもち、諸課題を意欲的に追求しようとしている。 b:琉球・蝦夷地との関係を含めて、世界史的視野からアジア世界をとらえようとしている。 c:一揆について、文献史料から必要な情報を収集することができる。 d:応仁の乱から約１　世紀にわたる戦乱の時代を理解する。また、都市と町衆の活動にも着目する。	定期考査提出物
	近世社会の形成と庶民文化の展開	・ヨーロッパ文化との接触と国内統一 1　ヨーロッパ文化との接触 2　織豊政権による全国統一 3　桃山文化	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○	a:ヨーロッパ文化と接触した歴史的背景に関心を持ち、南蛮貿易がもたらした影響を、意欲的に追求しようとしている。 b:大航海時代という世界史的視野に立ち、貿易とキリスト教布教が当時の日本社会に何をもたらしたか、自らの言葉で述べることができる。 c:大名や町衆の経済力が桃山文化を開花させたこと、キリスト教文化の影響も見逃せないことなどを、絵画等の資料から読み取っている。 d:織豊政権の諸政策を理解する。特に検地・刀狩・禁教令を考察し、基本的な知識を身に付けている。	
		幕藩体制の成立 1　江戸幕府と大名・朝廷 2　身分制度の確立(江戸時代の農民の生活) 3　キリスト教禁止と鎖国	○ ○	○ ○	○	○ ○ ○	a:関ヶ原の戦いから江戸幕府の成立にいたる過程について、意欲的に追求しようとしている。 b:　鎖国政策の進展に関して、文献史料などを用いて整理することができる。 c:農民統制に関して、文献史料などから必要な情報を読み取っている。 d:貿易統制と禁教を学ぶと同時に、オランダや中国、朝鮮、アイヌの人々と交易がおこなわれていたことに関して基礎的な知識を身につけている。	
		・近世社会の発達と町人文化 1　幕府政治の進展 2　経済と産業の発展 3　学問の新傾向と元禄文化	○	○ ○	○	○ ○	a:武断政治から文治政治に転換した意義を意欲的に追及しようとしている。 b:幕府財政が悪化した理由や、その再建策に関して、自分の言葉で適切に表現することができる。 c:元禄期を代表する美術・工芸を図版資料で読み取るほか、主要な文学作品を参照し、当時の文化を理解する。 d:　農業など諸産業の発達について理解し、各地の特産品に関する知識を身につけている。	

2学期		・幕藩体制の動揺と庶民文化の発達 1　幕藩体制の動揺と政治改革 2　幕藩体制の危機	○	○ ○	○ ○	○ ○	a:財政再建などを目的とした諸改革について意欲的に学ぼうとしている。 b:１８世紀の内外の危機や情勢の変化について、世界史的視野を持ち適切に表現することができる。 c: 文書史料の内容や語句の意味を正確に読み取っている。 d:自然災害や飢饉の発生が、一揆や村方騒動をまねいたことを理解し、幕府や諸藩に危機感を与えたことを理解している。	定期考査提出物
		・幕藩体制の動揺と庶民文化の発達 2　幕藩体制の危機 3　新しい学問の形成と化政文化	○ ○	○	○	○ ○	a:改革が失敗する一方、雄藩が誕生してきたことに関心を持ち、意欲的に追求しようとしている。 b: 改革が進められた背景にある課題を考察し、１９世紀に内外の危機が深化していく様子を自らの言葉で適切に表現できる。 c:化政文化を代表する美術・工芸を図版資料で読み取るほか、主要な文学作品を参照し、当時の社会や庶民の生活を理解する。 d:幕府の権威が衰えていることを、具体的事案とともに理解している。	
3学期	近代国家の形成と国民文化の発展	・「日本史Ａ」の総復習（経済・文j化中心）	○	○	○	○	a:日本の近代化を推進した諸改革や人物について関心を持ち、意欲的に追及しようとしている。 b: 世界大戦の背景にある課題を考察し、戦後の「国際社会への復帰」「高度経済成長と第１次石油危機の発生」について、自らの言葉で適切に表現できる。 c:グラフや写真、文献資料などから、近現代におけるアジア諸地域や欧米諸国と日本の関係について、必要な情報を正確に読み取っている。 d:第２次世界大戦後の国際秩序と日本の役割について考察し、理解を深めている。	定期考査提出物

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現　c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。